

講義・セミナー

スポーツ人文・応用社会科学系

准教授
和田 智仁
WADA Tomohito



専門分野

計算機科学 (Computer Science)

主な研究内容

- 慣性センサのスポーツ応用
- 動作計測、分析技術
- 情報基盤の構築と運用
- 情報教育

連携可能な事項

共同研究

慣性センサ、高速度カメラ、モーションキャプチャ装置、
眼球運動計測装置等を使った動作分析・データ取得など

受託研究

- ・ICTを活用した教育について
- ・情報通信技術一般

研究のキーワード

慣性センサ 情報基盤システム 映像解析
ICT 活用教育 動作分析

研究に使用している機器のご紹介

慣性センサ

加速度計、角速度計、地磁気計を内蔵する9軸の慣性センサです。防水のものや200Gまでの測定が可能なものなどを有しており、各種スポーツでの計測実績があります。

光学式3次元モーションキャプチャシステム



赤外線方式の高精度モーションキャプチャ装置 (MAC3D System) です。220万画素のカメラ16台から構成されます。スポーツ場面での動作分析をはじめ、歩行解析、アニメーション作成などを目的とした測定の実績があります。屋外での測定も可能となりました。

情報処理演習室

多目的のコンピュータ教室です。60台のPC(Core i5-7500、8GB、Windows 10)、3台のプロジェクタ、OHC、カラープリンタなどが利用できます。

全台にOfficeスイートをはじめ、数値解析ソフトウェア、ビデオ編集ソフトウェア、栄養計算ソフトウェアなどがインストールされています。

